

○研究の動機・目的・方法

これらはどの研究分野においても求められる項目です。「動機」については、私的なことを含めて語るのも良いでしょう。「目的」については、その研究が達成された場合の社会への貢献を軸に考えます。「方法」については、文献研究や統計処理、アンケート調査や実地調査などを詳細に述べます。

○章立て

論文では、自分の仮説を検証したり、述べたいことを立証したりするために、章を立てます。その章で章の表題に基づいた内容を述べ、それをまとめるところまでを含みます。それらの章の全てがまとめられたら、論文の主題が確かめられた、という流れになるよう考えていきます。

○題目

論文全体で述べたい主題や論文の中でまとめたものを題目にもってくる人が多いです。裏を返すと、論文の中で述べられていないことまでを含んだ題目になると不適切で、また逆に述べていることが十分に表せていない題目になるのももったいない、ということです。

[例題] 「現代社会」「コミュニケーション」で考えたことを論文化するとしたら、どのような研究の動機・目的・方法、章立て、題目が考えられるだろうか。